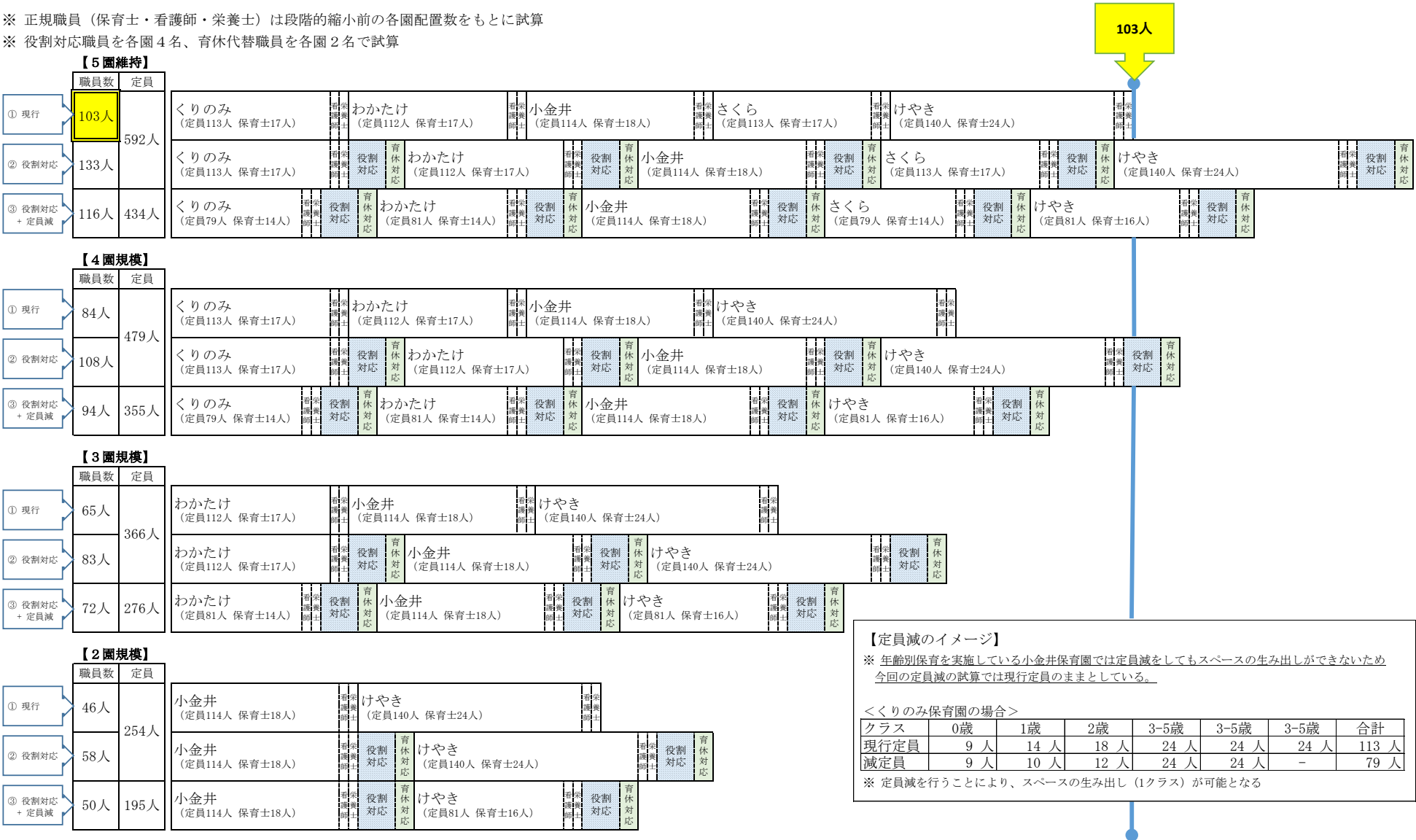


小金井市立保育園の職員数・費用の試算（概算）
（「資料 6 1 小金井市立保育園の職員配置と施設の状況等」、「資料 6 3 市立保育園の配置イメージ」を基に資料化）

1 園数毎の職員配置の試算

※ 正規職員（保育士・看護師・栄養士）は段階的縮小前の各園配置数をもとに試算
※ 役割対応職員を各園 4 名、育休代替職員を各園 2 名で試算



2 園数毎の費用の試算（概算）

【試算にあたっての前提】

- ・財政効果を測るための試算ではなく、園数により費用の違いがあることを示す資料として作成
- ※ 預かる児童の状況により変動する会計年度任用職員の人件費や、長寿命化・大規模修繕実施時の園舎移転や仮園舎設置等の費用は含めていない。

【各項目の考え方】（「資料3 0 保育定員数及び本市の財政状況等について」の単価等に基づき試算）

[受け入れ児童数]：「1 園数毎の職員配置の試算」表の定員から値を引用

[正規職員数]：「1 園数毎の職員配置の試算」表の職員数から値を引用

[単年度歳出]：以下のそれぞれの項目の値より算出

- ・人件費（正規職員数にR6年間人件費（市行政経営担当算出）の職員単価で算出）
- ・公立運営費（R7保育課当初予算額（公立保育園の運営に要する経費）から人件費等を除き算出）
- ・公立維持費（R7保育課当初予算額（公立保育園の維持管理に要する経費）
- ・民間施設運営経費（R5決算額をベースに、「公立保育園の児童数（認可定員上限）」×「私立保育園に在籍した場合の児童一人当たりの経費」で算出）

[単年度歳入]：R5決算額をベースに、公立、私立それぞれ児童一人当たりの歳入単価を算出し試算 ※ 公立園の定員が減った分の公立園児童全員が民間園に在籍する想定で試算

[長寿命化・大規模修繕費用]：R12までの公共施設個別施設計画に基づき試算

くりのみ保育園：く わかたけ保育園：わ 小金井保育園：小 さくら保育園：さ けやき保育園：け		5 園維持	4 園規模 (く・わ・小・け)	3 園規模 (わ・小・け)	2 園規模 (小・け)
受け入れ児童数					
段階的縮小前認可定員		592 人	479 人	366 人	254 人
受け入れ定員減（③）の場合		434 人	355 人	276 人	195 人
正規職員数					
①現行		103 人	84 人	65 人	46 人
②役割対応		133 人	108 人	83 人	58 人
③役割対応＋定員減		116 人	94 人	72 人	50 人
単年度歳出【A】					
①現行		1,133,709,000	1,214,383,502	1,295,058,003	1,355,426,780
②役割対応		1,397,709,000	1,425,583,502	1,453,458,003	1,461,026,780
③役割対応＋定員減		1,639,564,744	1,609,601,934	1,579,639,123	1,536,803,292
単年度歳入【B】					
①現行		219,249,000	369,489,096	519,729,191	668,639,728
②役割対応		219,249,000	369,489,096	519,729,191	668,639,728
③役割対応＋定員減		487,835,003	580,278,110	672,721,218	768,934,502
一般財源負担ベース【A】－【B】〔国・都負担及び保育料相当相殺後〕					
①現行		914,460,000	844,894,406	775,328,812	686,787,052
①の5園の場合の費用との差		0	▲ 69,565,594	▲ 139,131,188	▲ 227,672,948
②役割対応		1,178,460,000	1,056,094,406	933,728,812	792,387,052
①の5園の場合の費用との差		264,000,000	141,634,406	19,268,812	▲ 122,072,948
③役割対応＋定員減		1,151,729,741	1,029,323,823	906,917,905	767,868,791
①の5園の場合の費用との差		237,269,741	114,863,823	▲ 7,542,095	▲ 146,591,209
長寿命化・大規模修繕費用（※）		423,362,400	423,362,400	374,157,600	190,680,000

※ さくら保育園、くりのみ保育園（S43年建設棟）、けやき保育園は、公共施設個別施設計画期間において改修等が計画されていない。